

北海道聖書学院 2024年度 1学期(4/16~6/29) 聴講のための授業案内

曜日	科目名	講師・教師	授業内容
火曜日	ギリシャ語文法①	高橋政宣師	火曜日と金曜日に学びます。ギリシャ語で書かれている新約聖書原典を読むために、基礎的な文法を学びます。多くの時間と努力を要する学びですが、原典に接することで得られる恵みは計り知ることができません。
	キリスト教史①	川崎憲久師	本講義の目的は、キリスト教会二千年の歴史的出来事を聖書を眼鏡にして考察しつつ、同時に私たちの歴史と繋がっていることを覚え、省み、現在から将来への信仰の歩みに生かすことです。そこにある神の支配、憐み、摂理を意識するようになることを目指します。
	旧約聖書緒論	中西健彦師	旧約聖書を読む上での前提知識について、正典論・ヘブル語聖書本文・五書批評学などの緒論を学びます。自由主義的な聖書の読み方に対しても識別・批評できるようになることを目指します。
	新約聖書神学	小澤和男師	この学びでは、聖書のことばにこだわりながら、深く考察し、私たちのうちに聖書のことばを豊かに住まわすことを目指します。(コロサイ3:16) クラスで新約聖書の中で使われる「ことば」を調べ、神学的テーマを深く考えながら、正確な理解を目指します。
水曜日	旧約聖書通論①	中西健彦師	一人で読むのは難しいと思われがちな旧約聖書ですが、その中には無数の霊的な宝が隠されています。「創造・アブラハム・シナイ・王国期・捕囚期・第二神殿期」というタイムラインを元に旧約の歴史を紐解き、新約へと連なる神の救いの全体像を学びます。
	教会論(15週)	松元 潤師	私たちクリスチャンは「教会」に所属しながら、教会に関して誤解や混乱したままに教会生活を送っているかもしれません。その原因を知った上で、教会とは何かを問い直しつつ教会生活や諸活動について学びます。
木曜日 (時間割表参照)	組織神学序説(15週)	松元ハンナ師	神学を学ぶ意味、神学の前提などを一緒に考えます。神学することと神のために生きることが統合されていくための本質的な学びです。
	啓示・聖書論 1学期5週/2学期10週	松元ハンナ師	聖書そのものが何を語っているかを土台に、啓示の意味と価値を学びます。そして学院の授業の柱となっている聖書釈義の前提である聖書の無謬性について共に考え、私たちの聖書観を確認します。
	聖書解釈学(15週)	吉永光生師	聖書を靈感された誤りなき神のことばと信じていても、その解釈の方法があいまいであれば、神のみこころを正しく知ることはできません。そこで、歴史的プロテスタントの方法に従って、字義的・文化的・批評的に聖書の意味を正しく理解する方法を学びます。
	キリスト・贖罪論(15週)	水草修治師	キリスト論、贖罪論には昔から偽りの教えが紛れ込んできました。本講の目標は創造から神の王国の完成に至る視野の中で、聖書的に正確なキリスト論、贖罪論を理解することです。テキストとして拙著『新・神を愛するための神学講座』(地引網出版、2022年)を用いますので、学院事務室であらかじめ購入してクラスに臨んでください。
	カテキズム	水草修治師	使徒パウロは「神のご計画のすべてを、余すところなくあなたがたに知らせた」(使徒20:27)と言いました。このクラスは、創造から新天新地に至る神のご計画の全体をバランスよく理解するために、教理問答というかたちで体系的に整理するものです。テキスト『神を愛するための教理問答』は、当方で用意します。
金曜日	牧会学I(基礎)	竹本邦昭師	牧会とは何か、牧会者とはだれか、何を、いかになすのか、「牧会」ということばを使う人によって様々な混乱が起きています。このような牧会の現場での混乱、教会の中の痛みを聖書からの解決を求めます。
	個人伝道	堀田修一師	主の恵みを味わい、みことばとイエス様の個人伝道を学び、御聖霊に拠り頼んで主を伝える器となることを目指します。マルコ3:14にあるように、①まず、主のみそばで主の恵みに憩い、②それから宣教、伝道に遣わされる事を目指します。
土曜日	聖書地理	吉田麻希子師	資料と模型を使いながら、聖書の舞台となったイスラエルの地理を学びます。主な地形・町を覚え、聖書の出来事と地理を確認しつつ学ぶことで、「土地勘」を身に付け、聖書を読む際に、より深い理解へ導かれることを目指します。
	新約聖書通論①	姜 明善師	新約聖書の各巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。
	キリスト教倫理	菜花和男師	21世紀において教会・キリスト者はどう生きるべきか。現代社会の課題を意識しつつ、キリスト教倫理の土台として十戒を取り上げます。諸問題の解を聖書に求めます。テキストは泉田 昭著「キリスト教倫理」(いのちのことば社2009年)です。

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。
(聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき、1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回)
複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。